

たかおか

市議会 だより

No.43 6月定例会号
平成28年(2016年)8月1日発行

6月定例会のあらまし	2P
個別質問	4P
委員会の動き	8P

新高岡駅から
かがやきに乗ろう!!



万葉ふ頭フェスティバルのTシャツアート展

写真提供：フォト・セッションクラブ

編集■広報広聴委員会
発行■富山県高岡市議会
〒933-8601 高岡市広小路7-50
TEL 0766-20-1531
FAX 0766-20-1534
E-mail : gikai@city.takaoka.lg.jp

暑中お見舞い申し上げます。
高岡市議会議員一同

補正予算・条例など

23議案を可決・同意

個別質問に12人が登壇

6月定例会は9日に開会し、22日に閉会しました。
市長から平成28年度一般会計補正予算をはじめ21議案が、議員から4議案が提出され、うち23議案を可決・同意しました。
今定例会では、個別質問に12人の議員が登壇し、白熱した議論を展開しました。

可決・同意した主な議案等

条例

市税賦課徴収条例等の一部改正

地方税法等の改正に伴い、所要の改正を行うもの。
(主な内容)

- (1) 事業者による再生可能エネルギー発電設備に係る固定資産税課税標準の特例措置について、わがまち特例を導入したうえで2年間延長
- (2) 平成29年4月の消費税率引上げ時、法人住民税法人税割の税率引き下げ
- (3) 平成29年4月の消費税率引上げ時、自動車取得税を廃止、環境性能割を創設
- (4) 特定一般用医薬品等購入費

を支払った場合、医療費控除の特例を適用

国民健康保険条例の一部改正

地方税法施行令の改正に伴い、関連条項を改正するもの。

- (1) 賦課限度額の見直し
医療分 52万円 ↓ 54万円
後期高齢者支援金分 17万円 ↓ 19万円
- (2) 低所得者に係る保険税軽減の拡充
(軽減割合5割の場合)
所得が「33万円+世帯の被保険者数×26万円」以下
↓ 「33万円+世帯の被保険者数×26.5万円」以下
(軽減割合2割の場合)
所得が「33万円+世帯の被保険者数×47万円」以下
↓ 「33万円+世帯の被保険者数×48万円」以下



次回選挙より議員定数を削減 「30」から「27」へ

市議会議員定数条例の一部改正

議員定数 30人 ↓ 27人

その他

総合計画基本構想

平成29年度から始まる新たな総合計画における基本構想を策定するもの。

工事請負契約の締結

能町公民館新築工事
契約金額 2億1060万円

工事請負契約の変更

*牧野小学校校舎増築工事
インフレスライド条項の適用により、契約金額を変更するもの。

変更前

3億5768万円

変更後

3億5836万円

財産の取得

(1) 土地
伏木矢田市宮住宅の建替事

議決結果一覧

初日提出議案

平成28年度 補正予算

◇ 一般会計……………全会一致で可決

◇ 国民健康保険事業会計……………全会一致で可決

条例

◇ 附属機関に関する条例の一部改正……………全会一致で可決

◇ 行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の一部改正……………全会一致で可決

◇ 市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び消防団員等公務災害補償条例の一部改正……………全会一致で可決

◇ 職員等旅費支給条例の一部改正……………全会一致で可決

◇ 市税賦課徴収条例等の一部改正……………賛成多数で可決

◇ 家庭の保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正……………全会一致で可決

◇ 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正……………全会一致で可決

◇ 国民健康保険条例の一部改正……………賛成多数で可決

◇ 市民病院事業の設置等に関する条例の一部改正……………全会一致で可決

◇ 福岡農業農村活性化農業構造改善施設条例及びとよまふくおか家族旅行村条例の一部改正……………全会一致で可決

◇ 総合計画基本構想……………賛成多数で可決

◇ 工事請負契約の締結(能町公民館新築工事)……………全会一致で可決

◇ 工事請負契約の変更(牧野小学校校舎増築工事)……………全会一致で可決

◇ 財産の取得(土地)……………全会一致で可決

その他

◇ 総合計画基本構想……………賛成多数で可決

◇ 工事請負契約の締結(能町公民館新築工事)……………全会一致で可決

◇ 工事請負契約の変更(牧野小学校校舎増築工事)……………全会一致で可決

*インフレスライド条項：特別の事情により工期内に日本国内において急激なインフレーションを生じ、請負代金額が著しく不適当となったとき、発注者及び受注者は、請負代金額の変更を請求することができる。



新高岡駅利用促進に役 市内中学校の修学旅行

業用地を取得するもの。

取得価格 9544万円

(2)災害対応特殊梯子付消防自動車

高岡消防署の梯子付消防自動車を更新するもの。

取得価格 2億876万円

(3)災害対応特殊救急自動車

高岡消防署牧野出張所の救急自動車を更新するもの。

取得価格 2862万円

人事

固定資産評価員

水上 哲氏（総務部長）

選挙

富山県後期高齢者医療広域連合議会議員補欠選挙当選人

村田 芳朗氏（副市長）

意見書（要旨）

次の意見書を可決し、衆参両院議長、内閣総理大臣、関係大臣等に提出しました。

TPPに係る国会の徹底した審議を求める意見書

TPP（環太平洋パートナーシップ協定）の承認案と関連法案は、衆議院での継続審議となったが、生産現場の不安は払拭されていない。

TPPが締結されると、2135（農産物重要5項目594）品目で関税が撤廃されることから、交渉経過を徹底的に解明していく必要がある。

TPPは新自由主義協定であり、その影響は国民の命と生活全般に及ぶが、政府が公

表した文書は、秘密保持契約を理由に国会、国民への説明責任は未だ果たされていない。

一方で米国では今回の合意に批判が噴出しており、こうした状況での国会承認は、国益を損ね、地域社会の衰退・切り捨てにつながりかねない。

よって、次の事項の実現を強く求める。

一 政府は、TPP参加各国との詳細な交渉経過や都道府県別の影響試算など、情報の提供を行うこと。

二 国会は、国民や生産者の不安や懸念にこたえるべく、十分な検証及び徹底した審議を行い、TPP協定批准について慎重に判断し、安易な承認は行わないこと。

最終日追加提出議案

人事

◇固定資産評価員の選任……………全会一致で同意

議員提出議案

◇市議会議員定数条例の一部改正……………賛成多数で可決

◇原発の運転停止を求める意見書……………賛成少数で否決

◇TPPに係る国会の徹底した審議を求める意見書……………全会一致で可決

◇地方自治体の臨時・非常勤職員の待遇改善と雇用安定のための法改正に関する意見書……………賛成少数で否決

◇財産の取得（災害対応特殊梯子付消防自動車）……………全会一致で可決

◇財産の取得（災害対応特殊救急自動車）……………全会一致で可決

◇損害賠償の額の決定……………全会一致で可決

◇市道路線の認定及び廃止……………全会一致で可決

3月定例会後～6月定例会前

- 3月23日 広報広聴委員会
- 25日 議会改革検討委員会
- 4月 8日 広報広聴委員会
- 14日 代表者会議
経済消防常任委員会
総務文教常任委員会
- 15日 民生病院常任委員会
- 18日～20日 民生病院常任委員会行政視察
- 22日 建設水道常任委員会
- 25日 議会改革検討委員会
- 5月10日～12日 議会運営委員会行政視察
- 17日 総務文教常任委員会
民生病院常任委員会
- 18日 建設水道常任委員会
- 23日 経済消防常任委員会
民生病院常任委員会
- 24日 議員説明会
議会改革検討委員会
- 25日～27日 経済消防常任委員会行政視察
建設水道常任委員会行政視察
総務文教常任委員会行政視察
- 6月 1日 議会運営委員会
代表者会議
- 3日 正副常任委員長会議

6月定例会

- 6月 9日 議員協議会
本会議（提案理由説明）
議案説明会
- 13日 議会運営委員会
本会議（個別質問）
- 14日 本会議（個別質問）
総合計画基本構想特別委員会
- 15日 代表者会議
総合計画基本構想特別委員会
民生病院常任委員会
経済消防常任委員会
- 16日 総合計画基本構想特別委員会
建設水道常任委員会
総務文教常任委員会
- 17日 議会運営委員会
- 20日 総合計画基本構想特別委員会
- 22日 委員長会議
議会運営委員会
議員協議会
本会議（議案など議決）

議会日誌

個別質問

今定例会では、12人が市政全般にわたり質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



高田 義一
自民同志会

かがやき定期化への決意

問 新高岡駅へのかがやき停車の定期化に向けた新たな取り組みについて問う。

(1)首都圏からの誘客を図るためには、高岡の魅力を発信し、新高岡駅の知名度向上が必要と考えるが、具体的な戦略は。(2)かがやきを新高岡駅に停車させる意義と定期化実現に向けた決意は。

産業振興部長 (1)誘客の取り組みは、PR活動、出向宣伝、旅行エージェント訪問、インセンティブ付与の4つを基本に考えている。今後は、北陸新幹線沿線の長野・大宮駅利用者の誘客につながる出向宣伝などに取り組みとともに、訪問客へのクーポンの提供、旅行会社への助成等の観光プログラムを積極的に打ち出し、新高岡駅の利用客増に結び付けていきたい。

市長 (2)かがやきは、首都圏

をはじめ沿線エリアの各都市と飛越能エリアを結ぶ最速かつ利便性の高い交流装置であり、富山県西部地域の生活、経済活動をけん引する大きな原動力となるものと確信している。かがやき臨時便の継続、増便、そして定期便停車の実現に向けて、全力をあげて取り組みでいく決意である。

新高岡駅周辺の交通円滑化

問 京田踏切の整備の進捗状況と今後のスケジュールは。

都市創造部長 これまで、工事手順など概略設計について、JR西日本と協議してきた。平成28年度は詳細設計を行い、設計数量や事業費の算定、工程等について検討しており、29年度から、仮踏切や仮設道路工事等に着手したい。



中山 欣一
市政高岡

地域防災力の向上に向けて

問 市民の生命と財産を守る災害に強いまち高岡の実現に



一步踏み込んだ災害対策を定める条例制定を

向けた決意と、踏み込んだ災害対策を定める条例を制定すべきと考えるが、見解は。

総務部長 条例制定には、自助・共助・公助の理念で、市民、市の責務を明確にし、各々の役割を担うことが求められるため、現在、総合防災訓練等を通じて、防災意識の高揚を図っている。今後も、防災意識の醸成や本市の防災計画の改善に努め、他市の条例等も調査・研究していきたい。

文化財の効果的な活用を

問 高岡日本遺産の魅力発信

について問う。

(1)日本遺産認定後のこれまでの取り組みの評価は。

(2)福岡菅笠を高岡日本遺産のストーリーにどのように組み込んでいく考えなのか。

教育長 (1)情報発信・普及啓発により、日本遺産のまち高岡としての認知度向上を図ることができ、より深く本市の歴史を学ぶ機会として好意的な評価が得られたと分析している。また、文化庁から情報提供を受けたアンケート結果で高い評価を得ることができたのは、認定後のこれまでの取り組みを通じて国内外にアピールを続けたことなどが功を奏したものと考えている。

(2)福岡にぎわい交流館や福岡庁舎の展示コーナー等を通して菅笠製作技術を広く紹介し、日本遺産構成文化財として魅力を発信していきたい。また、菅笠支援団体等と連携し、地域の活性化につなげ、高岡の日本遺産全体の認知度向上・普及啓発に一層努めたい。



本田 利麻
自民同志会

道徳と英語の教科化

問 平成32年度の学習指導要

領の全面改定により、小中学校の道徳と小学校5・6年生の英語が教科化されるが、その課題は。

教育長 道徳については、読み物の登場人物の心情理解のみに偏った指導から、考え、議論する授業への転換が重要であり、教員の指導力向上が大切と考える。英語については、コミュニケーションを図る活動型の授業に加え、初歩的な英語の運用能力を養う授業が大切であり、専科教員の積極的活用等が課題と考える。

市街化区域編入の今後は

問 都市計画について問う。

(1)今回の線引き見直し(市街化区域編入)の視点と対象地域の考え方は。

(2)県から示された市街化区域編入案を市としてどのように捉えているのか。

都市創造部長 (1)高速交通網を活かしたまちづくり等の視点で対象地域の選定を行った。線引き編入の対象は、住居系・商業系で鉄軌道から約500メートル、工業系で高岡、高岡北西インターチェンジ及び高岡砺波スマートインターチェンジから約1キロメートルの範囲で、かつ、飛び地となる場合は、既存住宅地を除き20ヘクタールの区域設

定が可能な地域を対象とした。
市長 (2)本市では、コンパクト・アンド・ネットワークの都市構造の構築により地方創生に取り組んでいる。編入案は、本市の目指すまちづくりにおいて重要と考えていた地域であり、活力あるまちづくりが大きく進展すると考える。



上田 武
社民党議員団

消費税引き上げ延期の影響

副市長 社会保障関係施策の財源となる消費税の税率引き上げ延期による本市の財源と財政への影響をどう受け止め、どのように対応するのか。

市長 厳しい財政状況の中、子ども・子育て等の社会保障の充実のための施策に取り組み、安定した財源を確保することが重要である。関係法令の改正など国会審議の動向を注視し、地方にとって社会保障に必要な財源の確保を、全国市長会を通じて国に要請していく。

共生社会の実現に向けて

副市長 平成28年4月の障害者差別解消法施行を受けて問う。
(1)本市では、どのような取り

組みを推進していくのか。
(2)教育現場で求められることと、推進体制は。

福祉保健部長 (1)今後、筆談機能付タブレット端末を導入するほか、障がいに対する正しい理解を目的とした職員研修を開催する。また、市広報や出前講座等で合理的配慮の好ましい事例の紹介等を交え、障がいのある人もない人も共に育ち、共に暮らし、共に働く共生社会の実現に努める。

教育委員長 (2)児童生徒の障がいが多様化する中、一人ひとりの教育的ニーズ把握が大切であり、学習内容の変更・調整、バリアフリー化などが求められている。各学校では、特別支援教育コーディネーターを中心に個別の指導計画等を作成し、ケース会議を行うなど、組織的な取り組みを行っている。今後も専門機関と連携し、差別的取扱いとならないよう十分に配慮したい。



土曜 一夫
自民同志会

本市ゆかりの偉人を学ぶ

副市長 土曜学習に藤子・F・不二雄先生などの本市出身の偉人の学習を取り入れては。

教育長 本市は偉人を数多く輩出しており、児童生徒が、郷土が誇る偉人の業績や足跡などについて学ぶことは、子どもたちに夢を与えることにもつながると考える。土曜学習推進事業のプログラムの一つとして、各校区で土曜学習を企画運営しているコーディネーターに提案していきたい。

B1コミック広場の充実を

副市長 クルン高岡地下街のコミック広場に高岡市出身作家のコーナーを設け、市民に親しんでもらうことは。

産業振興部長 市民のみならず観光客等への本市のPRにつながるため、コーナー設置に向け検討したい。また、さらなる充実のため、市民の協力を得ることも考えたい。

リオ五輪出場選手の応援

副市長 平成28年8月に開催されるリオデジャネイロオリンピックに出場する本市ゆかりの選手を、市民が集まって応援できるように、市が公共施設を会場として提供する考えは。

市長 本市ゆかりの女子レスリングの登坂絵莉選手、男子バドミントンの佐々木翔選手、男子競歩の谷井孝行選手の活躍を期待するとともに、市民を挙げて応援したい。また、

議長応接室にて



リオで輝け 女子レスリング日本代表 登坂絵莉選手

市内で登坂選手を応援するため、出身校である木津小学校の体育館において、大型映像装置を設置し、多くの市民が応援に参加できるようなパブリックビューイングの開催を検討している。



金平 直巳
日本共産党

浸水対策の着実な推進を

副市長 緊急浸水対策行動計画の進捗状況と平成28年度以降の計画は。
副市長 ボトルネックとなっていた地久子川とあいの風と

やま鉄道との交差点の整備などを完了した。また、小学校への土のう配備や防災情報メールによる災害情報の提供などを進めてきた。28年度以降は、雨水幹線などの整備を進め、土のうの配備箇所の拡大や防災情報メールの内容の充実などを強化していきたい。

通学路の安全確保に向けて

副市長 高岡市通学路交通安全プログラムの基本的な考え方と今後のスケジュールは。

教育長 このプログラムは、教育や道路、警察等の機関が連携して合同点検などに取り組み、継続的に通学路の安全性向上を図っていくものである。今後は、抽出した危険箇所をもとに合同点検や対策の検討を行い、平成28年10月末をめどに点検結果や対策内容を公表するとともに、対策の実施を進める予定である。

認知症支援の拠点の整備

副市長 認知症疾患医療センターの平成29年度設置を踏まえた28年度のスケジュールは。
福祉保健部長 医療機関等からなるセンター設置の検討会で、高岡医療圏での役割などの認識を共有し、協力医療機関等との連携体制を協議したい。市民病院では、認知症疾

患に精通した医師の確保について関係大学と協議している。また、診療体制の確立等、センター設置に向けた様々な問題の解決に努力している。



吉田 健太郎
公明 党

住民負担の軽減を

適正に管理されていない空き地は地域住民が手を入れざるを得ず、負担となつていく。地域住民の負担軽減に向けた取り組み強化の検討を。

市民生活部長 自治会等と協力して美化パトロールを行っており、地域環境美化等協力を各自治会に交付している。特に、市が指定した環境美化重点地区にはさらに助成しており、今後とも支援等に努め、住民負担に配慮しながら美しいまちづくりを推進したい。

インシシ被害への対応を

地域のインシシ被害が拡大傾向にある。状況に応じて迅速に対応すべきと考えるが、各地域の現状と対策は。

産業振興部長 被害状況を調査し、地元自治会等と協議しながら電気柵などの設置要望に対応している。また、山間

地の草刈りの周知とともに、被害防止対策研修会を通じてインシシを寄せ付けない環境づくりについて啓発している。

子ども・子育て施策の効果

子ども・子育て施策の一体的推進のために行った組織見直しの効果は。また、子育て満足度日本一にどれだけ近づいていると考えているのか。

市長 子ども・子育て業務の一本化により、就学前児童の保育等に関する手続きや相談が1カ所でできるようになるなどの効果があった。また、病児保育等保育サービスの多様化、保育料軽減率の拡大、子育て支援アプリの開始、産後ケア事業の実施、放課後児童クラブの受入態勢充実といった成果があった。



福井 直樹
自民同志会

有事の際の機能確保

災害発生時、本庁舎が使用不能な場合を想定すると、業務継続計画（BCP）を速やかに策定する必要があると考えるが、見解は。また策定に向けてのスケジュールは。

総務部長 災害時に、人、物、

情報等の利用が制約を受けた状況下においても、市民への影響を最小限に抑えるため、業務継続計画は重要である。今後、庁内全体会議を設置し、課題の抽出や対応策の検討を行い、平成28年度内をめどに、素案の策定に取り組みたい。

快適な環境づくりを

新幹線開業に合わせ、展望台をリニューアルしたおとぎの森館の利用者に向けた環境改善対策は。

都市創造部長 これまで、授乳室の整備やベンチの増設等のほか、周辺の花壇整備に取り組んできた。今後は、健康増進スペースとしての活用や、1階キッズコーナーの充実など、さらなる施設の環境改善に努めていきたい。

地域医療機関との連携強化

高岡医療圏の急性期医療を支える基幹病院として、地域医療機関等との連携の必要性をどう考えるか。また、連携強化をどう図るのか。

市民病院事務局長 今後、医療機関の機能分化が進むことで、地域医療機関との密接な連携が重要となる。登録した医療機関を紹介する連携医療機関登録制度を創設することとしており、将来的には地域

医療機関からの紹介患者を中心に医療提供を行う地域医療支援病院の指定を目指したい。



横田 誠二
自民同志会

県西部6市の新たな連携

（仮称）「とやま県西部圏」都市圏ビジョンについて問う。

(1) 連携における行政の効率化や経費削減、行政サービス向上の観点から、自治体クラウドの取り組みを進めては。

共同運用の拡大を 県西部消防指令センター

センターの運用体制の見直しについて検討を進めては。

経営企画部長 (1) 共同利用型自治体クラウド導入のメリットは、システム共同利用によるコスト削減に加え、業務フロー見直しによる業務の効率化等が挙げられる。一方、課題として、自治体規模による業務範囲・業務フロー等の違いから、必要となるカスタマイズによるコスト削減効果の低下、各自治体におけるシステム更新時期の違い等が挙げられる。今後、どのような枠組みが最適かも含め、導入について引き続き検討したい。

消防長 (2) 平成26年1月から、射水市を除く県西部5市で消防指令事務の共同運用を開始し、指令管制業務を一元的に実施している。今後、射水市の指令システムの更新時期を勘案しながら、中長期的に消防指令業務の共同運用の拡大を検討したい。

税務職員の資質向上を

東京都が実施する「税務の達人」プロジェクトに本市の職員を派遣しては。

総務部長 本市の規模や納税・滞納実態がプロジェクトに合うかどうか、派遣期間などを詳細に確認する必要があることから、その取り組み内容に

*自治体クラウド：地方公共団体の情報システムを外部のデータセンターに集約し、共同利用を進めることで、情報システムに係る経費の削減や住民サービスの向上等を図るもの。

ついで、東京都へ赴きヒアリングなどを実施したい。



中川 加津代
自民同志会

豊かな人生を送る支援を

市民病院の緩和医療では、がん患者とその家族に対し、どのような特色あるクオリティ・オブ・ライフの向上のための支援をしていくのか。

市民病院事務局長 それぞれの患者に応じた目標を設定し、身体的・精神的に安定した入院生活を送れるよう、疼痛緩和等を盛り込んだ看護計画を策定し、患者や家族ができる限り良好な生活の質を維持・向上できるように、きめ細かい緩和ケアの提供に努めている。

外国人旅行者の誘客活動

市長 平成28年1月の台北での市長トップセールス後に行ってきた観光対策の取り組み状況は、また、台湾からの訪問客数等から成果をどのように分析しているのか。

市長 訪台後、台湾の旅行会社から企画の申し出があり、4月にツアーが実現した。市内には、台湾をはじめ多くの外国人旅行者が来訪しており、

これまでのPR活動の効果によるものと受け止めている。

寺院を活かしたまちづくり

市内の寺院群を、ストーリー性のある古刹巡りのまち歩きができる観光ルートとして整備しては。

産業振興部長 たかおか観光戦略ネットワークが、過去に寺社巡りパンフレットを作成しており、平成27年には、学生の提案を受け、高岡御朱印帳を発行している。今後、このような関係団体と連携し、高岡らしい寺社巡りルートの再発掘や、県西部地域の寺社巡りなども検討し、本市観光の魅力アップに努めたい。



石須 大雄
社民党議員団

伏木曳山祭を振り返って

伏木曳山祭について問う。
(1)例年にも増して多くの観光客が訪れた伏木曳山祭の平成28年度の観光客数は。

(2)「かつちゃ」を見やすくするため、27年度より設置した棧敷席の販売状況は。

(3)棧敷席と食事をセットにした企画を提案し、観光客の誘致を図っては。

産業振興部長 (1)28年度は13万人の観光客が訪れた。前年度は9万6千人、日曜日開催の23年度は12万人だったことから、今回は非常ににぎわっていたと感じている。十七軒町の曳山が復元され、110年ぶりに曳山7基が勢ぞろいしたことや、天候に恵まれたことが増加の要因と考える。

(2)27年度より51席多い446席設置し、座席指定のS席を用意したほか、上り口の段差を低くし、中央部に通路を設けるなど工夫を凝らした。第一部は販売開始当初から売れ行きが好調で早々に完売した。一方、第二部のS席は完売したものの、最終的にA席で約90席の空席があった。

(3)アンケート結果では、食事場所が少ないとの指摘を受けている。旅行会社によると、市内の宿泊場所もしくはその周辺で夕食を早めに済ませてから現地入りする日程が多いと聞いており、伏木にちなんだ食事の提供という面からも大きな課題と認識している。祭り全体の盛り上げにつながる取り組みについては、空き家の利活用も含めて、どうしたら伏木のまちなかをゆっくりに見て楽しんでもらえるかを常に考え、地元や関係者の協力も得ながら検討したい。



坂林 永喜
自民同志会

健康で健やかな暮らしを

生涯スポーツへの取り組みについて問う。

(1)生涯スポーツ競技が実施されている施設の整備状況は。

(2)生涯スポーツの推進による健康寿命の延長に向けた取り組みは。

教育長 (1)スポーツ健康センターをはじめ、高岡西部総合公園、グラウンド・ゴルフ場



生活の一部にスポーツを取り入れ健康保持増進

など、市民ニーズに対応したスポーツ施設を整備してきた。また、新たな総合体育館は、平成28年度に基本設計・実施設計を行い、29年度に着工、31年度の完工を目指したい。

市長 (2)スポーツを生活の一部として取り入れ、健康保持増進、体力向上はもとより、精神的な充足や楽しさを得ることは大切である。住民運動会等のスポーツイベントへの参加機会提供や各学校の体育施設開放を通じ、気軽にスポーツに親しめる場の提供を行っているほか、ホームページ等を用いた情報提供を行っている。

経験を活かした避難所運営

新しい避難施設の開設に当たっては、被災地避難所の体験を活かした準備対応を。

総務部長 先の平成28年熊本地震では、避難所の運営体制や物資の運搬、受け入れが問題となったが、本市では、26年度より各避難所に市職員を避難所運営要員として指名しており、施設管理者と協力して避難所の開設・運営を行うこととしている。これまでの災害を教訓に体制を確立し、様々な防災訓練を通じて地域住民に避難所運営への参加について啓発していきたい。

委員会の動き

今後10年間の長期的な市政運営の基本方針を示す総合計画基本構想について、特別委員会を設置し審査しました。

○総合計画基本構想特別委員会

◆総合計画基本構想と、平成27年10月に策定した「未来高岡」総合戦略との関係は。

◆総合計画審議会では、委員である市民や民間団体の役員から幅広い意見を得られたが、総合計画基本構想にどのような反映したのか。

◆本市は、県、南砺市に次いで3番目に中小企業振興条例を制定しており、先進地であると考えられる。今後、この条例

をどう活かしていくかが重要と考えるが、見解は。

◆歴史と文化という言葉が一括りにされているが、芸術・文化は、いつの時代も新しいものが生まれてくるものである。もっと新しい芸術・文化が生まれ、育ちやすい環境づくりを実現するため、若者の文化活動を応援することを記述すべきと考えるが、見解は。

◆環日本海交流の拠点として、国際貿易港の整備と利活用や、クルーズ船の誘致に取り組みしていることから、様々なクルーズ船を受け入れるためにも旅客ターミナルを整備してはと考えるが、見解は。

◆「増加する危険物等の社会的条件をもつ本市」という記述があるが、まちなかにある危険物とは、具体的に何を指すのか。

すのか。

◆本市の市民一人当たりの都市公園面積は、あまり良くないというイメージがある。「緑化の推進と保全」という記述があるが、一人当たりの公園面積を向上させるためのビジョンは、総合計画基本構想に含まれているのか。

◆積雪時に寄せられる苦情の中には、自分たちで対処できる案件も見受けられる。「雪対策の充実」では、「自分たちでできることは自分たちで対処する」という自助を掲げているが、厳しい財政状況の中、支出を抑制する面でも有益であり、このような市の方針は、市民にもっとPRしていくべきと考えるが、見解は。

◆「簡素・効率的で、市民サービスの維持向上が図られる

行政運営、健全な財政運営、開かれた行政を民間の経営的な視点を取り入れながら推進します」との記述があるが、この「民間の経営的な視点」をどのように捉えているのか。

編集後記

設等の老朽化対策に関連して、公共施設の長寿命化の考え方についての記述も必要と考えるが、見解は。



総合計画基本構想特別委員会

6月定例会は、総合計画審議会から、基本構想の答申を

いただき、「文化力」「創造力」「市民力」という本市の強みを活かし、市民の皆さまと共に「共創」という視点を大切に、本市の今後のまちづくりに取り組んでいくため、基本構想について特別委員会で議論を深めました。また、飛越能・県西部地域における本市の役割を考えますと、「かがやき」定期便の停車は、是非とも実現していかねければなりません。そのため、補正予算も組み、議会と致しましても強く要望しております。

さて、この便りが届く頃にはリオ五輪も開催されます。本市出身ゆかりの選手の活躍を期待するとともに、市民を挙げて応援してまいりたいと思います。(盤若記)

★編集委員

◎曾田、○坂林、石須、横田、藪中、吉田、中山、盤若、酒井、金平

(◎委員長 ○副委員長)

9月定例会の予定

9月定例会は、下記のとおり開催される予定です。
なお、日時等は、9月2日開催予定の議会運営委員会で決定されます。

12日(月)	11時	議員協議会
	13時	本会議
		(提案理由説明)
14日(火)	10時	本会議(代表質問)
16日(水)	9時	議会運営委員会
	10時	本会議(個別質問)
20日(土)	10時	本会議(個別質問)
		本会議終了後
		水道病院決算特別委員会
		決算特別委員会
21日(日)	9時	代表者会議
	13時	民生病院常任委員会
	13時	経済消防常任委員会
23日(月)	10時	議会運営委員会
	13時	建設水道常任委員会
	13時	総務文教常任委員会
27日(金)	9時30分	委員長会議
	10時	議会運営委員会
	11時	議員協議会
	13時	本会議
		(議案など議決)

❁ 詳しい内容については、高岡市議会事務局(☎20-1531)までお問い合わせください。

市議会の傍聴

本会議及び委員会は、どなたでも自由に傍聴できます。

本会議は82名(うち車椅子利用者は5名)まで、委員会は7名まで傍聴できます。

最近の定例会の傍聴者数

定例会	本会議	委員会
27年 9月	25人	2人
27年 12月	97人	0人
28年 3月	31人	0人
28年 6月	54人	1人